

バイオエコノミー産業創出支援部会（補助金審査会 委員審査）について

広島県商工労働局補助金等審査会
バイオエコノミー産業創出支援部会

1 会議の概要

開催日時	令和8年5月22日（金）13時20分～15時00分		
開催場所	商工総務会議室（広島県庁東館2階）		
開催方法	オンライン方式		
出席委員名	・農林水産関係事業コーディネーター（外部有識者）		
	・広島県 総務局 研究開発課 研究推進担当監	倉本 丈久	
	・広島県 農林水産局 農業技術課長	月岡 繁彦	
	・広島県 商工労働局 バイオ・ヘルスケア産業課長	畝 智博	
議題	(1) 部会長の選任について (2) 令和8年度バイオエコノミー産業創出支援事業費補助金に係る事業計画の審査について		
担当部署	商工労働局バイオ・ヘルスケア産業課		

2 議事要旨

(1) 部会長の選任

広島県商工労働局補助金等審査会運営要綱（以下「審査会運営要綱」という。）第3条第4項に基づき、委員の互選により、畝智博委員を部会長に選任した。

(2) 令和8年度バイオエコノミー産業創出支援事業費補助金に係る事業計画書の審査

次の審査基準により、募集期限までに提出のあった2件について審査を行った。

審査基準	審査の項目	配点 ウェイト	応募者（順不同）	
			A	B
1 事業の妥当性	a 課題解決の的確性	× 1	3.8	3.5
	b 補助事業の必要性・有効性		3.5	3.3
	c 製品・サービスの新規性・優位性		3.8	3.5
2 実現可能性	d 目標の妥当性	× 2	6.5	6.5
	e 事業者の実施体制、遂行能力		7.5	7.5
	f 事業経費の妥当性		6.0	6.0
	g 実施計画の妥当性		7.0	6.5
3 事業成果（本県経済への波及効果）への期待度	h 市場性の判断、ビジネスモデルの妥当性	× 3	10.5	9.8
	i ロードマップの合理性、説得力		8.3	9.8
	j 本県への経済波及効果、費用対効果		10.5	10.5
合計点数			67.3	66.8
採 否			採択	採択

※本結果は、4名の委員の平均点である。

・審査における、各委員からの意見は次のとおり。

応募者	意見
A	<ul style="list-style-type: none">・ 県内企業が抱える課題解決の一助となる提案であり、実現できれば県におけるバイオエコノミー産業の創出に貢献が見込まれる。・ 顧客獲得に向けたロードマップをしっかりと練る必要がある。
B	<ul style="list-style-type: none">・ これまでに積み重ねた知見を生かすことで、技術開発や事業効果が期待できる。・ 意欲的な取組であり、本事業成果を他の生物にも応用できれば、県経済への貢献が見込まれる。

・上記の審査の結果、基準点（60点）を上回ったもののうち、予算の範囲内である次の2者について、採択が適当と認められた。

（株）FOOD & LIFE COMPANIES、プラチナバイオ（株）